

## 令和 5 年 度 事 業 計 画

### 概要

人口減少、少子高齢化が進行する中、当センターの高齢化率は佐川町、越知町及び日高村の平均値で 2030 年は 49.0%、2040 年では 53.7%と二人に一人は高齢者となることが予測されています。

このような中、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとしてシルバー人材センターは重要な役割を担っています。

又、「安全・安心なシルバー事業」の確立を図ることはシルバー事業の根幹をなすものであり、そのためには事故を「他人事」から「自分のこと」と意識を変えてもらうことが重要であると考えます。

### 高齢者の労働力

高齢者の労働力としての拡大が強く求められている中、就業を通じて高齢者の健康増進に資するシルバー人材センター事業の重要性とシルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものになっています。

今後、いかに会員を獲得して労働力を確保するかがこれからのシルバー人材センター一番の課題になると考えます。

### 入会年齢の高齢化

近年の入会者の年齢は、10 年前と比較すると 60 代での入会が減少し、70 代での入会が圧倒的に増加しています。そのため会員の平均年齢も 75 歳に到達しようとしている状況にあり、会員の高齢化も着実に進行しています。

### インボイス制度

令和 5 年度はインボイス制度が導入され、消費税の取扱いが大きく変わり、新たにセンターの経費が増大してきます。その影響として、配分金に対する事務費率を段階的に上げることにより発注者の方に負担を強いることとなり、受注にも影響が出てくることが予想されます。発注者の方に満足のいただける成果を提供することが、繰り返しの受注につながることを考え、一層きめ細かな対応が求められます。

#### 1) 会員確保及び就業機会の確保

会員確保と就業機会の確保は同時に推進することが重要であり、あらゆる機会を活用しセンターで就業を希望する高齢者が気楽に入会できるセンターづくりに取り組みます。又退会会員の抑制も重要であると考え、退会抑止の方

策も探りながら取り組みます。

## 2) 安全就業の推進

安全就業は事業を継続していく上で最重要課題であります。前年度の事故を見てみると「ちょっとした気のゆるみ」「もう少し注意をしていたら」防げていた事故が発生しているので「安全パトロール」の実施や、「安全標語」の募集を行い、会員の安全意識の高揚に努めていきます。

又、人命を預かる業務である車の運転従事者を対象に、自動車学校において認知機能テストや、実際に車の運転を行い教官の意見や感想なども聞きながら安全講習会を実施します。

## 3) 高齢者の見守り活動の推進

各町村社会福祉協議会及び関係町村と連携して、高齢者や支援が必要な方の見守り活動を推進していきます。

## 4) 事業の効率化及び普及啓発

令和5年度はシルバー人材センターのシステム「エイジレス80」の更新時期でもあるので、各事務所にシステムを配置し、お客様及び会員に満足していただけるサービスを提供していきます。

又、近年の社会情勢を見てみるとデジタル化が進み、デジタル化なしでは業務ができない時代が来ています。令和5年度は佐川越知日高広域シルバー人材センターのホームページを立上げ、会員の入会及び受注の増につながるよう広く地域に又全国に発信をしていきます。